



ロータリークラブの会長として

March 8, 2025 (Saturday)

President Elect Learning Seminar (PELS)

藤沢商工会館ミナパーク 6F 多目的ホール

一つひとつのロータリークラブが ロータリー活動の最大の担い手

- **Polio Plus Program** は、国際ロータリー本部が主導する唯一のプロジェクト(例外)
- 青少年交換プログラム、インターアクト、RYLAは、クラブ単独では難しい若い世代への活動を、**地区が広範に支援している**、と理解した上で自覚的に実施する
- クラブ例会、委員会活動、地域社会への貢献、他国への奉仕活動、姉妹クラブ活動など大半の「ロータリーの目的」を推進する活動は各クラブが担っている

ロータリークラブ独自の特質を再確認しよう！

- 会員構成の多様さ(職業、年齢など)
- ひとつの目的の共有(「ロータリーの目的」奉仕の理念)
- 会員相互の対等性(世間的しがらみとは無縁)
- 自発的意思による参加
- 緩やかな規則
- クラブにおける役割の単年度制(原則)
- 各クラブが国際ロータリー(RI)の構成員((会員)、ロータリアン個人ではない

ロータリークラブの会長

- 2025~2026年度の対外的なクラブの顔、クラブ会員のリーダー
- 年度のクラブ活動全般に自分らしさ表現する(会員の期待)
- 地域社会との連携を心掛ける
- 小委員会活動の活性化を図る(具体的任務のみに囚われない)
- 個々の会員への声掛けを怠らない
- クラブの活動を自ら楽しむ(率先して家族の参加を心掛ける)
- 会員相互の談笑・会話の機会を意識的に作る

とびっきりの年度にしてください！

- ・ 国際ロータリー第2780地区の多彩な働きを大いに利用し、
- ・ 自クラブの特徴を最大限生かし、
- ・ あくまでも自分（クラブ会長）らしさにこだわって、
- ・ ○○ロータリークラブ会長として、